

統合分野 在宅看護論 授業計画

授業科目及び時間数	在宅看護Ⅲ 1単位 30時間		
開講時期	2年次 後期		
担当教員	芝口由美子・増田恵美・大坪千秋・丸山久美子 原との子・垣田宜邦	実務経験	有
<p>科目のねらい・到達目標</p> <p>在宅看護における安全と健康危機管理について学び、日常生活援助ならびに医療的援助における基本的アセスメントに活かせるようにする。また、様々な事例から、療養者と家族、それらを取り巻く環境と状況に応じた在宅看護の実践を学び、既存の知識を応用し、多職種と連携することで在宅看護の実践に結びつけることができることを理解する。よって、到達目標は、在宅で療養生活をする対象に応じた看護と家族（介護者）への看護を理解する。在宅療養を支える社会資源の活用と多職種との連携の必要性を理解することである。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	<p>1. 在宅療養生活の特徴</p> <p>「済生さんが安全に奥さんと共に療養生活を送れるために、パンフレットおよびマニュアルを作成しよう！」</p> <p>1) 済生さん宅を訪問しよう！</p> <p>2) 「済生さんが安全かつ確実に薬を飲めるよう工夫しよう！」</p> <p>3) 「プロの技を提供しよう！おむつの当て方と爪切り編」</p> <p>4) 「大切な人を感染症から守ろう！」</p> <p>5) 「さあ大変！災害に向けての準備及び対応を考えよう」</p>	講義・グループワーク（大畑）	
2回目	1. パンフレットおよびマニュアル作り	グループワーク	
3回目	1. パンフレットおよびマニュアル作り	グループワーク	
4回目	発表会	プレゼンテーション	
5回目	<p>「あなたなら自分の最後をどう過ごしたいですか？」</p> <p>1. 人生の最終段階を迎えた方への看護を考える</p>	講義・グループワーク（吉田）	
6回目	1. 人生の最終段階を迎えた方への看護の展開	講義・グループワーク（吉田）	
7回目	<p>「おじいちゃんが夕方になると徘徊しているの、どうしたらいい」と相談されたらどうする？</p> <p>1. 認知症で療養する対象の看護</p>	講義・グループワーク（大坪）	
8回目	1. 認知症で療養する対象の看護の展開	講義・グループワーク（大坪）	
9回目	<p>「治療法が見つからない病気にかかってしまったら…」 どうする。</p> <p>1. 神経難病で療養する対象の看護</p>	講義・グループワーク（丸山）	
10回目	1. 神経難病で療養する対象の看護の展開	講義・グループワーク（丸山）	
11回目	<p>「訪問したら、お家の中がぐちゃぐちゃ！片づけられないで居る」</p> <p>1. 精神障がい療養する対象の看護</p>	講義・グループワーク（垣田）	
12回目	1. 精神障がい療養する対象の看護の展開	講義・グループワーク（垣田）	
13回目	1. 療養する小児への看護	講義・グループワーク（原）	
14回目	1. 療養する小児への看護 事例を使って社会資源を知ろう	講義・グループワーク（大畑）	
15回目	終了試験		
評価方法	パンフレット・マニュアル作成（個人10%/・グループ10%・プレゼン5%）講師担当（各15%）		
受講生に対するメッセージ	グループワークを中心に進めていく講義となる。各自主体的に取り組んでほしい。この科目は5名の外部講師を招いての講義となる。今現場で起こっていること、体験談、トピックスを織り込でのお話も聞ける貴重な機会となることを意識して臨んでほしい。		
テキスト	在宅看護論 医学書院		
参考書	地域医療を支えるケア メディカ出版		